

【京都市会請願署名の資料】

京都市の保育はどうなっているの？ －問題点と課題－

- ◆待機児童は4月段階ではゼロだが10月には52人となっており、年度途中入園は困難。隠れ待機児童は472人もいる。

	2017年4月	2017年10月	2018年4月
待機児童数	0	52	0
隠れ待機児童数 (きょうだい別・遠い等の理由で未入園)	535	—	472

- ◆小規模保育事業や企業主導型保育事業の増加・新設が目立っている。

	2015年4月	2017年4月	2018年4月
保育園	255 (市営21)	247 (市営18)	246 (市営17)
認定こども園	11	22	34
小規模保育事業等	69	112	120
企業主導型保育事業	—	—	24

- ◆小規模や企業主導型の基準は、認可保育園に比べて低い。単価も同様に低い。

	保育者	3歳未満給食	乳児の基本単価(月額)
認可保育園	保育士100%	自園調理	225,190円(定員20人)
小規模保育事業	A型	保育士100%	外部搬入OK
	B型	保育士50%	外部搬入OK
	C型	研修修了者	外部搬入OK
企業主導型保育事業	保育士50%	外部搬入OK	211,260円(定員15人)

- ◆保護者には、保育料以外の費用負担(主食費・おむつ・通園バス代等)も大きいのかかっている。

各園で大きな差があるが、6年間在園した場合、もっとも高額な園では、民間保育園で約45万円、民間認定こども園で約50万円となっている。これらは国が2019年10月に実施しようとしている保育料無償化の対象となっていない。【『隠れ保育料を考える』かもがわ出版、2018年より】